

農地の高度利用と営農労力の節減による農業経営の向上

求院地区(島根県簸川郡斐川町)



事業地区の概要

事業名：県営経営体育成基盤整備事業
 受益面積：110.0ha
 工期：H11～H18
 総事業費：2,435百万円
 土地改良区：斐川町土地改良区
 農業経営のタイプ：組織経営、個別経営

地区の紹介

【事業実施の契機】

本地区は島根県簸川郡斐川町の西部に位置し、一級河川斐伊川の右岸沿いに拓けた沖積平野です。水田の大部分は10a区画で地下水位も高く、また農道も狭く農業機械の効率利用を妨げている状況でした。このことから、本事業により区画の形状及び水路を整備し大型機械導入による生産性の高いほ場に再整備をすると共に、農地の集積を進めることにより、土地利用型農業のコストの低減・経営の安定化を図り、効率的・安定的な農業構造の確立を目指すことになりました。

【事業内容】

区画整理A=110.0ha(整地工A=110.0ha、用水路工L=20.3km、排水路工L=12.3km、道路工L=17.4km)
 暗渠排水工A=92.0ha

【事業実施の効果】

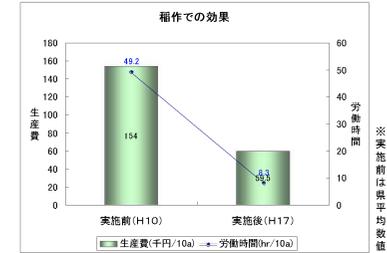
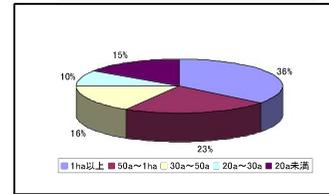
- 水田の大区画化により大型農業機械化体系が確立され、水稻・麦・大豆の効率的な生産が可能となりました。(労働時間の短縮、生産費の低減、麦・大豆栽培においてブロックローテーションの推進)
- 労働時間の短縮による労働力の創出及び水田の汎用化により複合営農が推進されました。
- 営農組合、担い手への農地集積がなされました。

【今後の取り組み】

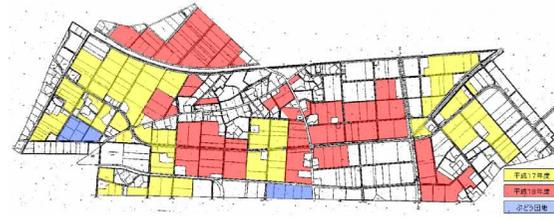
- 効率的かつ安定的な農業経営を図るため生産組織の法人化
- 複合営農の強化・拡大による農業所得の向上及び産地づくり

●水田の大区画化による作業の効率化・経費の軽減

区画規模別面積割合

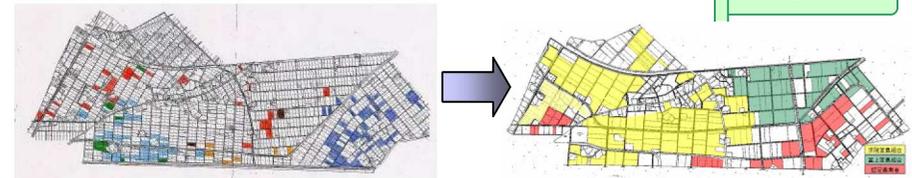


麦・大豆の転作状況



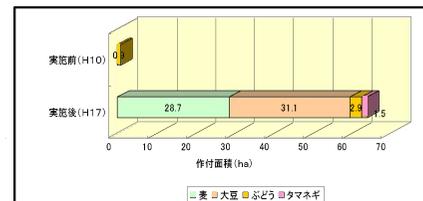
●担い手への農地集積

農地の集積状況



●水田の大区画化・汎用化による複合営農への取り組み

主要作物の作付状況



ぶどうの栽培状況



ぶどう団地



整備前



整備後:50a~1ha区画

